

## 日本歯周病学会第2回関東地区臨床研修会終了報告

臨床研修会委員長 東 克章

平成28年4月10日、栃木県宇都宮市で第2回関東地区臨床研修会を栃木県歯科医師会館で下記の通り開催しましたので、ご報告いたします。

テーマ：生物学に則った歯周治療

主催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会

共催：一般社団法人 栃木県歯科医師会

大会長：柴田 勝（一般社団法人 栃木県歯科医師会 会長）

実行委員長：沼部 幸博（日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座教授）

準備委員長：東 克章（日本歯周病学会 臨床研修会委員長）

運営事務局：第2回関東地区日本歯周病学会臨床研修会実行委員会

日時：平成28年4月10日（日）9：00～16：30

会場：栃木県歯科医師会館

プログラム：

- 教育講演① 「歯周治療における原因除去療法の重要性」 関野 愉：日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座准教授
- 教育講演② 「生物学に則り原因除去重視の歯周治療—自分の歯を大切に長期間保存するうえで大切なこと—」 加藤 熙：北海道大学歯学部名誉教授（歯周病学）
- 歯科衛生士教育講演 「SRPの概念と技術の変遷」 小田 茂：東京医科歯科大学総合診療歯科准教授  
※急病のため東臨床研修会委員長が代理で講演を行いました
- テーブルクリニック 「模型を用いたGTR法の実習」 伊藤 弘：日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座准教授、小川 智久：日本歯科大学付属病院総合診療科准教授
- 特別講演「歯周病の検査・診断・治療計画の指針にそった臨床医のための歯周治療—歯科医学的根拠に基づいた保険請求をするためには—」 沼部 幸博：日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座教授

開催日は、入学式のシーズンでもあり参加者の来場を心配していましたが、晴天に見舞われ当日は117名の参加者が集まり他室のサテライトホールも使用した研修会となりました。

本研修会は、栃木県歯科医師会会長柴田勝先生に大会長を務めていただき、また、同歯科医師会副会長の宮下均先生、常務理事の入野光市先生、栃木県歯科衛生士会会長の林幸子先生はじめ多数の方々が協力してくださいました。

研修会のテーマは「生物学に則った歯周治療」としました。これは私共の行う歯周治療が、エビデンスに則ったものであり、それに従えば長期にわたってよい結果を得ることができることによりそう決定しました。

はじめに柴田大会長、つづいて小方頼昌日本歯周病学会副理事長、沼部幸博実行委員長にご挨拶をいただきました。

まず、教育講演①として関野愉先生に歯周治療における原因除去療法についてエビデンスを整理し、その重要性、治療様式、その効果についてお話していただきました。

教育講演②では加藤熙先生に日本と欧米の歯周病研究や治療の歴史から現代までを総括していただき、特に歯周基本治療の重要性を強調されました。また、歯は長期間保存することができることを50年経過した症例で示されました。

午後は歯科衛生士教育講演と歯周疾患治療普及事業としてのテーブルクリニックを開催しました。歯科衛生士教育講演は、小田茂先生が急病により来会できなかったため準備委員長の東克章が同じ演題で代わって講演を行いました。主にヨーロッパで行われているデブライメントについてSRPと比較しながら考察を加えました。

GTR法のテーブルクリニックでは伊藤弘先生、小川智久先生にGTR法の講演と実習を行っていただきました。受講生は熱心な実習態度であり多くの質問がありました。

最後は、沼部幸博先生に特別講演をお願いしました。日本歯周病学会が作成した歯周病の検査と診断の治療計画の指針から我々が最もよりどころにしている保険診療の効果的な運用法について述べられました。また、本日の全ての講演を総括整理していただきました。

今回の研修会では、途中退席もなく、受講者の満足度の高いものとなりました。このことは、各演者の講演の素晴らしさに起因します。

以上、栃木における第2回関東地区臨床研修会のご報告とさせていただきます。